

## 雪

布宮慈子  
やすこ

電車より見ゆる霞城公園の土手は真白に静まりてゐる

雪の野を飛ぶ一羽なる青サギよいづこより来ていづこへ行かむ

十代に思はざりしを石の上ふるさとの山われにやさしも

薄雪の疎林を右にカーブしてゆけば見えくる月山、葉山

月山を正面にして走行す語りかくるもの何かある吾に

雪塊のうへに雀はあそびゐて鶴鶴せはしく道を歩めり

地下道にムーミン谷ありその謂れ誰に訊きても確と分からず

離れねば見えぬ蔵王の山々が入り日を浴びてかがやく時間

俄雪、粉雪、根雪、牡丹雪、綿雪、粗目雪、忘れ雪

雪のなか飛びくるはカラスなまなまと近づきやがて白に紛るる